

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
地理歴史・歴史総合		普通科・1年	2(視覚) 2(病弱)	歴史総合 近代から現代へ(山川出版)
科目の概要と目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学期	・歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料		・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。
	・明治維新と日本の立憲体制	・明治維新と諸改革 ・明治初期の対外関係 ・自由民権運動と立憲体制		・日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。
	・帝国主義の展開とアジア	・条約改正と日清戦争 ・日本の産業革命と教育の普及		・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。
2 学期	・帝国主義の展開とアジア	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強の対立 ・日露戦争とその影響		・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。
	・第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障		
3 学期	・経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・第二次世界大戦と太平洋戦争		・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。
	・戦後の国際秩序と日本の改革	・新たな国際秩序と冷戦の始まり ・占領下の日本と民主化		・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。
	・冷戦と世界経済	・集団防衛体制と核開発 ・西ヨーロッパの経済復興 ・第三世界の連携と試練 ・日本の高度経済成長 ・核戦争の恐怖から軍縮へ		・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。